

# NF 通信

ice arther



Vol.6

column

01

## 専門家コラム

大妻女子大学 人間関係学部 准教授 田中 俊之さん  
(男性学の第一人者として、メディアや講演会等で活躍中)



フルタイムの共働きが多くなった現代の日本でも、やはり子育ての中心は母親ということが多いと思います。このような状況で、父親の自分にしかできないことがあれば嬉しいと考えるのは当然です。ただ、実際には子育てにおいて筋力が必要な場面はほとんどありません。キャンプなどのようなアクティブな活動でも、親の性別でそれほど変わりはないでしょう。そうだとすれば、父親という点にこだわるよりも、単純に親として子どもに何ができるのかを考えてみるというのではないのでしょうか。例えば、仕事が忙しく子どもが寝た後にしか帰宅できないのであれば、交換日記をしてみる、休日はたくさん一緒に遊ぶといった感じです。親としてできることをやってみましょう。

column

02

## NGFリレーコラム

1期生 Y.Eさん 75歳

※NGFとは、Nice Grand Father の頭文字です。

1期生 下山 和利さん 66歳

上は小学校3年生、下は保育園年長組です。家が隣同士なので土日以外学校、保育園から帰って来ると殆ど我が家に来ます。いつまでもこんな日が続いてくれれば良いと思っています。

不思議、本当に不思議、他の人にジジイと言われるとむかつくけど、孫にジジイと言われると嬉しくなるのはなんだろうな。ジジイはあたしの後ろを歩いてと言われて、孫の後ろ姿を見ながら、日々成長していく姿を見られる楽しみの、今日この頃です。



### 子育てコンサルジュより

入園の相談を受ける中で、子育ての何もかもを自分一人でやろうとしているママが多くいることに気づきました。「全部私がやります！」そんなオーラすら感じます。「パパは忙しい。親世代も忙しい。自分がやるしかない。」と思っているのです。

パートナーや親を頼ることを伝えるとびっくりされます。「無理です!」「考えていませんでした!」とおっしゃる方もいます。

さあ、そこでNF・NGFの出番です!「一緒にやろうよ。」と声をかけてあげてください。子どもを真ん中に、みんなでたくさん話をしませんか? 尊い子育てという仕事を家族で一緒に楽しみましょう。

